

2026 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	上級会話 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験 (有 ・ 無)
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	17回	授業時間 Class Hours	1回につき 90分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、会話でのコミュニケーションに有効な語彙や表現、文法を教授する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 会話に必要な語彙や表現を学ぶ前と後にロールプレイを行うことで、会話活動にどのような語彙や表現が必要であるのかを学習者自ら意識できるようにする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 実際に遭遇することが多い場面や状況において、日本語能力試験 N2 程度 (CEFR B2) の日本語で適切な会話ができるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	「12. 身近な人に状況を話してアドバイスをもらう」タスク、練習、会話作成、発表			
第 2 週/ Week 2	「12. 身近な人に状況を話してアドバイスをもらう」ワークブック、発表、フィードバック			
第 3 週/ Week 3	「13. 大切にしている物について修理を依頼する」タスク、練習、会話作成、発表			
第 4 週/ Week 4	「13. 大切にしている物について修理を依頼する」ワークブック、発表、フィードバック			
第 5 週/ Week 5	「14. 客からの無理な注文に対して、事情を話し丁寧に対応する」タスク、練習、会話作成、発表			
第 6 週/ Week 6	「14. 客からの無理な注文に対して、事情を話し丁寧に対応する」ワークブック、発表、フィードバック			
第 7 週/ Week 7	「17. 初めて会う人に連絡をして都合を聞きながら会う約束をする」タスク、練習、会話作成、発表			
第 8 週/ Week 8	「17. 初めて会う人に連絡をして都合を聞きながら会う約束をする」ワークブック、発表、フィードバック			
第 9 週/ Week 9	「18. 不要になったものを分かりやすく説明して譲る」タスク、練習、会話作成、発表			
第 10 週/ Week 10	「18. 不要になったものを分かりやすく説明して譲る」ワークブック、発表、フィードバック			
第 11 週/ Week 11	「19. 壊れたものの修理を状況を説明して依頼する」タスク、練習、会話作成、発表			
第 12 週/ Week 12	「19. 壊れたものの修理を状況を説明して依頼する」ワークブック、発表、フィードバック			
第 13 週/ Week 13	「20. 店に希望を伝えて予約する」タスク、練習、会話作成、発表			
第 14 週/ Week 14	「20. 店に希望を伝えて予約する」ワークブック、発表、フィードバック			
第 15 週/ Week 15	総復習			
第 16 週/ Week 16	期末試験			
第 17 週/ Week 17	期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語中級』「こんなときどうする？」を使用 『ことば・表現ワークブック』中級				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「会話」の成績として評価する。成績はすべて A～E で評価される。評価はルーブリックを使用する。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		上級作文 I		担当教員	氏名/Name
				Instructor	実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき50分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、意見を伝えるのに効果的な文章を生成するのに必要な語彙、表現、文法を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
自分や自分の周り、社会的な問題について、学習者の理解と意見の表出を促す。実際に作文を書かせ、フィードバックを繰り返すことで、学習者が自身の記述の能力を運用しながら作文の能力を向上させる。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
社会における問題の概要を理解できるようになる。また、それぞれの問題に対する考えを仲間と共有することで意見を深め、日本語能力試験 N2 (CEFR B2) 程度の日本語で、意見を効果的に述べられるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/Week 1	『できる日本語中級』11課 日本の社会で興味を持ったライフスタイルについて比較と意見				
第2週/Week 2	『できる日本語中級』11課 日本の社会で興味を持ったライフスタイルについて比較と意見、フィードバック				
第3週/Week 3	『できる日本語中級』12課 自分の生活の記録と気づき				
第4週/Week 4	『できる日本語中級』12課 自分の生活の記録と気づき、フィードバック				
第5週/Week 5	『できる日本語中級』13課 おすすめの作品を紹介する				
第6週/Week 6	『できる日本語中級』13課 おすすめ作品を紹介する、フィードバック				
第7週/Week 7	『できる日本語中級』14課 自分の国との違いについて様子や状況を詳しく説明する				
第8週/Week 8	『できる日本語中級』14課 自分の国との違いについて様子や状況を詳しく説明する、フィードバック				
第9週/Week 9	『できる日本語中級』15課 情報メディアの活用方法と問題				
第10週/Week 10	『できる日本語中級』15課 情報メディアの活用方法と問題、フィードバック				
第11週/Week 11	『できる日本語中級』16課 日本の学校生活、教育システムについて				
第12週/Week 12	『できる日本語中級』16課 日本の学校生活、教育システムについて、フィードバック				
第13週/Week 13	『できる日本語中級』17課 依頼のメール				
第14週/Week 14	『できる日本語中級』17課 依頼のメール、フィードバック				
第15週/Week 15	総復習				
第16週/Week 16	総復習、期末試験				
第17週/Week 17	期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『できる日本語』中級					
成績評価 / Evaluation					
期末試験を行い、「作文」の成績として評価を行う。評価はルーブリックを使用する。成績はすべて A~E で評価される。					
備考 / Memo					

2026 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	上級総合日本語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	
授業形態	講義 <u>演習</u> ・実習	単位区分	必修・選択	実務経験 (有 ・ 無)
授業回数 Number of Classes	週 5 回 17 週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 1 回につき 90 分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、高度な語彙・表現や文法、日本社会について議論する上で必要な知識を教授する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 学習者が自身の技能を運用しながら学べるよう、ロールプレイ、グループ活動、プレゼンテーションを多く行う。各課のテーマによっては生教材を使用し、実際の日本語の使用場面に触れられるようにする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 身につけている技能を運用しながら、日本語能力試験 N2～N1 前半程度 (CEFR B2) の日本語力を身につける。自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑な文章の主要な内容を理解できる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	第 11 課 : チャレンジ 1～2、ワークブック			
第 2 週/ Week 2	第 11 課 : チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！			
第 3 週/ Week 3	第 12 課 : チャレンジ 1～2、ワークブック			
第 4 週/ Week 4	第 12 課 : チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！			
第 5 週/ Week 5	第 13 課 : 確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 6 週/ Week 6	第 13 課 : チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 7 週/ Week 7	第 14 課 : チャレンジ 1～2、ワークブック			
第 8 週/ Week 8	第 14 課 : チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！			
第 9 週/ Week 9	第 15 課 : 確認テスト、チャレンジ 1～2、ワークブック			
第 10 週/ Week 10	第 15 課 : チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！			
第 11 週/ Week 11	第 16 課 : チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 12 週/ Week 12	第 16 課 : チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 13 週/ Week 13	第 17 課 : 確認テスト、チャレンジ 1～3、ワークブック			
第 14 週/ Week 14	第 17 課 : チャレンジ 4～5、知って楽しむ、できる！			
第 15 週/ Week 15	第 18 課 : チャレンジ 1～2、ワークブック			
第 16 週/ Week 16	第 18 課 : チャレンジ 3～4、知って楽しむ、できる！			
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語 中級』、『できる日本語中級 ことば・表現ワークブック』、				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。また、2 課ごとに到達度の確認テストを行い、「確認テスト」の成績として評価する。評価はすべて A～E で評価される。プレゼンテーションやグループ活動はルーブリックを用い、「会話・発表」の成績として A～E で評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		中級会話 I		担当教員	氏名/Name
				Instructor	実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17回	授業時間 Class Hours	1回につき 90分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、会話でのコミュニケーションに有効な語彙や表現、文法を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 会話に必要な語彙や表現を学ぶ前と後にロールプレイを行うことで、会話活動にどのような語彙や表現が必要であるのかを学習者自ら意識できるようにする。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 実際に遭遇することが多い場面や状況において、日本語能力試験 N3 程度 (CEFR B1) の日本語で適切な会話ができるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/Week 1	「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」タスク、練習、会話作成、発表				
第2週/Week 2	「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」ワークブック、発表、フィードバック				
第3週/Week 3	「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」タスク、練習、会話作成、発表				
第4週/Week 4	「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」ワークブック、発表、フィードバック				
第5週/Week 5	「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」タスク、練習、会話作成、発表				
第6週/Week 6	「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」ワークブック、発表、フィードバック				
第7週/Week 7	「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」タスク、練習、会話作成、発表				
第8週/Week 8	「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」ワークブック、発表、フィードバック				
第9週/Week 9	「5. けがの状況と今の状態を説明する」タスク、練習、会話作成、発表				
第10週/Week 10	「5. けがの状況と今の状態を説明する」ワークブック、発表、フィードバック				
第11週/Week 11	「6. 体調を崩した友達の話聞いて、アドバイスする」タスク、練習、会話作成、発表				
第12週/Week 12	「6. 体調を崩した友達の話聞いて、アドバイスする」ワークブック、発表、フィードバック				
第13週/Week 13	「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」タスク、練習、会話作成、発表				
第14週/Week 14	「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」ワークブック、発表、フィードバック				
第15週/Week 15	総復習				
第16週/Week 16	期末試験				
第17週/Week 17	期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語中級』『こんなときどうする?』を使用 『ことば・表現ワークブック』中級					
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「会話」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。					
備考 / Memo					

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		中級会話 I		担当教員	氏名/Name
				Instructor	実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17回	授業時間 Class Hours	1回につき 90分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、会話でのコミュニケーションに有効な語彙や表現、文法を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 会話に必要な語彙や表現を学ぶ前と後にロールプレイを行うことで、会話活動にどのような語彙や表現が必要であるのかを学習者自ら意識できるようにする。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 実際に遭遇することが多い場面や状況において、日本語能力試験 N3 程度 (CEFR B1) の日本語で適切な会話ができるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/Week 1	「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」タスク、練習、会話作成、発表				
第2週/Week 2	「1. 参加するイベントの内容を話して友達を誘う」ワークブック、発表、フィードバック				
第3週/Week 3	「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」タスク、練習、会話作成、発表				
第4週/Week 4	「2. 店の人に希望を伝えて依頼する」ワークブック、発表、フィードバック				
第5週/Week 5	「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」タスク、練習、会話作成、発表				
第6週/Week 6	「3. 日本の生活を充実させるために情報をもらう」ワークブック、発表、フィードバック				
第7週/Week 7	「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」タスク、練習、会話作成、発表				
第8週/Week 8	「4. 困っていることを説明し解決してもらえよう頼む」ワークブック、発表、フィードバック				
第9週/Week 9	「5. けがの状況と今の状態を説明する」タスク、練習、会話作成、発表				
第10週/Week 10	「5. けがの状況と今の状態を説明する」ワークブック、発表、フィードバック				
第11週/Week 11	「6. 体調を崩した友達の話聞いて、アドバイスする」タスク、練習、会話作成、発表				
第12週/Week 12	「6. 体調を崩した友達の話聞いて、アドバイスする」ワークブック、発表、フィードバック				
第13週/Week 13	「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」タスク、練習、会話作成、発表				
第14週/Week 14	「7. 理由を話して相手に丁寧に許可を求める」ワークブック、発表、フィードバック				
第15週/Week 15	総復習				
第16週/Week 16	期末試験				
第17週/Week 17	期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語中級』『こんなときどうする?』を使用 『ことば・表現ワークブック』中級					
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「会話」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。評価はルーブリックを使用する。					
備考 / Memo					

2026 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	中級作文 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無）
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき 50分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、日本語の自然な文章生成に必要な語彙、表現、文法を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者自身の知識や考えを引き出し、作文の内容に反映させられるようにする。実際に作文を書かせ、フィードバックを繰り返すことで、学習者が自身の記述の能力を運用しながら作文の能力を向上させる。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自分や自分の周り、自国の文化について日本語能力試験 N3 (CEFR B1) 程度の日本語で紹介できるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『できる日本語中級』1課 自己紹介文、フィードバック			
第2週/Week 2	『できる日本語中級』1課 交流会参加体験談、フィードバック			
第3週/Week 3	『できる日本語中級』2課 買い物エピソード			
第4週/Week 4	『できる日本語中級』2課 買い物エピソード、フィードバック			
第5週/Week 5	『できる日本語中級』3課 今の生活を振り返る			
第6週/Week 6	『できる日本語中級』3課 今の生活を振り返る、フィードバック			
第7週/Week 7	『できる日本語中級』4課 地域の施設の案内作成、報告書			
第8週/Week 8	『できる日本語中級』4課 地域の施設の案内作成、報告書 フィードバック			
第9週/Week 9	『できる日本語中級』6課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文			
第10週/Week 10	『できる日本語中級』6課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文、フィードバック			
第11週/Week 11	『できる日本語中級』7課 ボランティアやサークル活動の経験			
第12週/Week 12	『できる日本語中級』7課 ボランティアやサークル活動の経験、フィードバック			
第13週/Week 13	『できる日本語中級』8課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える			
第14週/Week 14	『できる日本語中級』8課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える、フィードバック			
第15週/Week 15	総復習			
第16週/Week 16	総復習 期末試験			
第17週/Week 17	期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語中級』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「作文」の成績として評価はルーブリックで行う。成績はすべて A～E で評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	中級作文 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無）
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき50分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、日本語の自然な文章生成に必要な語彙、表現、文法を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者自身の知識や考えを引き出し、作文の内容に反映させられるようにする。実際に作文を書かせ、フィードバックを繰り返すことで、学習者が自身の記述の能力を運用しながら作文の能力を向上させる。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自分や自分の周り、自国の文化について日本語能力試験 N3 (CEFR B1) 程度の日本語で紹介できるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『できる日本語中級』1課 自己紹介文、フィードバック			
第2週/Week 2	『できる日本語中級』1課 交流会参加体験談、フィードバック			
第3週/Week 3	『できる日本語中級』2課 買い物エピソード			
第4週/Week 4	『できる日本語中級』2課 買い物エピソード、フィードバック			
第5週/Week 5	『できる日本語中級』3課 今の生活を振り返る			
第6週/Week 6	『できる日本語中級』3課 今の生活を振り返る、フィードバック			
第7週/Week 7	『できる日本語中級』4課 地域の施設の案内作成、報告書			
第8週/Week 8	『できる日本語中級』4課 地域の施設の案内作成、報告書 フィードバック			
第9週/Week 9	『できる日本語中級』6課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文			
第10週/Week 10	『できる日本語中級』6課 国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩の紹介文、フィードバック			
第11週/Week 11	『できる日本語中級』7課 ボランティアやサークル活動の経験			
第12週/Week 12	『できる日本語中級』7課 ボランティアやサークル活動の経験、フィードバック			
第13週/Week 13	『できる日本語中級』8課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える			
第14週/Week 14	『できる日本語中級』8課 お世話になっている人へ感謝を伝える、自分の気持ちを伝える、フィードバック			
第15週/Week 15	総復習			
第16週/Week 16	総復習 期末試験			
第17週/Week 17	期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語中級』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「作文」の成績として評価はルーブリックで行う。成績はすべてA～Eで評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	中級総合日本語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	週5回 17週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 1回につき90分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、実際の語彙・表現や文法、日本社会で生活する上で必要な知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
学習者が自身の技能を運用しながら学べるよう、ロールプレイ、グループ活動、プレゼンテーション、作文の練習を多く行う。初級よりもまとまった量の対話や長めの文章の読み書きの練習を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
初級で身につけた技能を運用しながら、日本語能力試験 N3、CEFR B1 程度の日本語力を身につける。普段出会うような身近な話題について共通語による話し方ならば主要点が理解できる。身近で個人的に関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた脈絡のある文章を作ることができる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	第1課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第2週/Week 2	第1課：チャレンジ4、知って楽しむ、できる！			
第3週/Week 3	第2課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第4週/Week 4	第2課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第5週/Week 5	第3課：確認テスト、チャレンジ1～3、ワークブック			
第6週/Week 6	第3課：チャレンジ4、知って楽しむ、できる！			
第7週/Week 7	第4課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第8週/Week 8	第4課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第9週/Week 9	第5課：確認テスト、チャレンジ1～3、ワークブック			
第10週/Week 10	第5課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第11週/Week 11	第6課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第12週/Week 12	第6課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第13週/Week 13	第7課：確認テスト、チャレンジ1～3、ワークブック			
第14週/Week 14	第7課：チャレンジ4、知って楽しむ、できる！			
第15週/Week 15	第8課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第16週/Week 16	第8課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第17週/Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『できる日本語中級 ことば・表現ワークブック』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。また、2課ごとに到達度の確認テストを行い、「確認テスト」の成績として評価する。評価はすべてA～Eで評価される。プレゼンテーションやグループ活動はルーブリックを用い、「会話・発表」の成績としてA～Eで評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	中級総合日本語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	週5回 17週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 1回につき90分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、実際の語彙・表現や文法、日本社会で生活する上で必要な知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者が自身の技能を運用しながら学べるよう、ロールプレイ、グループ活動、プレゼンテーション、作文の練習を多く行う。初級よりもまとまった量の対話や長めの文章の読み書きの練習を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 初級で身につけた技能を運用しながら、日本語能力試験 N3、CEFR B1 程度の日本語力を身につける。普段出会うような身近な話題について共通語による話し方ならば主要点が理解できる。身近で個人的に関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた脈絡のある文章を作ることができる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	第1課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第2週/Week 2	第1課：チャレンジ4、知って楽しむ、できる！			
第3週/Week 3	第2課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第4週/Week 4	第2課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第5週/Week 5	第3課：確認テスト、チャレンジ1～3、ワークブック			
第6週/Week 6	第3課：チャレンジ4、知って楽しむ、できる！			
第7週/Week 7	第4課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第8週/Week 8	第4課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第9週/Week 9	第5課：確認テスト、チャレンジ1～3、ワークブック			
第10週/Week 10	第5課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第11週/Week 11	第6課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第12週/Week 12	第6課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第13週/Week 13	第7課：確認テスト、チャレンジ1～3、ワークブック			
第14週/Week 14	第7課：チャレンジ4、知って楽しむ、できる！			
第15週/Week 15	第8課：チャレンジ1～3、ワークブック			
第16週/Week 16	第8課：チャレンジ4～5、知って楽しむ、できる！			
第17週/Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『できる日本語 中級』、『できる日本語中級 ことば・表現ワークブック』、				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。また、2課ごとに到達度の確認テストを行い、「確認テスト」の成績として評価する。評価はすべてA～Eで評価される。プレゼンテーションやグループ活動はルーブリックを用い、「会話・発表」の成績としてA～Eで評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	初級総合日本語 I		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	
授業形態	講義・演習 実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	週5日・17週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 13:30～17:40	実務経験（有・無） 実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによる実際の日常会話や、日本人の生活・習慣に関する知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者が自身の「読む・聞く・書く・話す」の四技能を実際に運用しながら伸ばせるよう、授業中に口頭練習やペア活動、記述式の練習を多く行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日常生活に必要な日本語能力（日本語能力試験 N5/CEFR A1～A2程度）を「読む・聞く・書く・話す」の四技能にわたって身につけ、よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができる。相手がゆっくり、はっきり話してくれたら簡単なコミュニケーションが日本語でできる。簡単な文章が読み書きできる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	サバイバル日本語会話の練習／文字指導（『かなマスター』によるひらがな・カタカナ）			
第2週/Week 2	『みんなの日本語 I』第1課～第2課／かな復習、『漢字たまご 初級』漢字のきほん、第1課			
第3週/Week 3	『みんなの日本語 I』第3課～第4課／『漢字たまご 初級』第2課			
第4週/Week 4	『みんなの日本語 I』第5課～第6課／『漢字たまご 初級』第3課			
第5週/Week 5	『みんなの日本語 I』第7課～第8課／『漢字たまご 初級』第4課			
第6週/Week 6	『みんなの日本語 I』第9課～第10課／『漢字たまご 初級』第4課②			
第7週/Week 7	『みんなの日本語 I』第11課～第12課／『漢字たまご 初級』第5課①			
第8週/Week 8	『みんなの日本語 I』第13課、第1課～第13課復習／『漢字たまご 初級』第5課②			
第9週/Week 9	『みんなの日本語 I』第14課～第15課／『漢字たまご 初級』第6課①			
第10週/Week 10	『みんなの日本語 I』第16課～第17課／『漢字たまご 初級』第6課②			
第11週/Week 11	『みんなの日本語 I』第18課～第19課／『漢字たまご 初級』第7課①			
第12週/Week 12	『みんなの日本語 I』第14課～第19課復習、第20課／『漢字たまご 初級』第7課②			
第13週/Week 13	『みんなの日本語 I』第21課～第22課／『漢字たまご 初級』第8課①			
第14週/Week 14	『みんなの日本語 I』第23課～第24課／『漢字たまご 初級』第8課②			
第15週/Week 15	『みんなの日本語 I』第25課、第21課～第25課復習／『漢字たまご 初級』第9課①			
第16週/Week 16	『みんなの日本語 I』総復習／『漢字たまご 初級』第9課②			
第17週/Week 17	『みんなの日本語 I』期末試験／『漢字たまご 初級』期末試験			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『みんなの日本語 初級 I 第2版』関連教材 （本冊、翻訳・文法解説、標準問題集、句型練習帳、やさしい作文、聴解タスク、読解トピック） 『かなマスター』『漢字たまご初級』				
成績評価 / Evaluation 「文法・読解」「文字・語彙」「作文」「聴解」の期末試験を行い、評価する。また、『みんなの日本語』5課ごとに「会話」の試験、2課ごとに到達度確認テストを行い、それぞれの平均点を「会話」「確認テスト」の成績項目で評価する。成績はすべてA～Eで評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	初級総合日本語Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期 後期	配当年次	1年 2年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	週5日・17週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 13:30～17:40	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによる実際の日常会話や、日本人の生活・習慣に関する知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者が自身の「読む・聞く・書く・話す」の四技能を実際に運用しながら伸ばせるよう、授業中に口頭練習やタスク課題、記述式の練習を多く行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日常生活に必要な日本語能力（日本語能力試験 N4～N3/CEFR A2～B1程度）を「読む・聞く・書く・話す」の四技能にわたって身につけ、簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について日本語でコミュニケーションができるようになる。また、簡単な文章が読み書きできるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『みんなの日本語Ⅰ』第25課までの総復習／『漢字たまご初中級』楽しく覚えよう、第1課前半			
第2週/Week 2	『みんなの日本語Ⅱ』第26課～第27課／『漢字たまご初中級』第1課後半			
第3週/Week 3	『みんなの日本語Ⅱ』第28課～第29課／『漢字たまご初中級』第2課			
第4週/Week 4	『みんなの日本語Ⅱ』第30課～第31課／『漢字たまご初中級』第3課			
第5週/Week 5	『みんなの日本語Ⅱ』第26課～第31課復習、第32課／『漢字たまご初中級』第4課			
第6週/Week 6	『みんなの日本語Ⅱ』第33課～第34課／『漢字たまご初中級』第5課			
第7週/Week 7	『みんなの日本語Ⅱ』第35課～第36課／『漢字たまご初中級』第6課			
第8週/Week 8	『みんなの日本語Ⅱ』第37課、第32課～第37課復習／『漢字たまご初中級』第7課			
第9週/Week 9	『みんなの日本語Ⅱ』第38課～第39課／『漢字たまご初中級』第8課			
第10週/Week 10	『みんなの日本語Ⅱ』第40課～第41課／『漢字たまご初中級』第9課			
第11週/Week 11	『みんなの日本語Ⅱ』第42課～第43課／『漢字たまご初中級』第10課			
第12週/Week 12	『みんなの日本語Ⅱ』第44課～第45課／『漢字たまご初中級』第11課			
第13週/Week 13	『みんなの日本語Ⅱ』第46課～第47課／『漢字たまご初中級』第12課			
第14週/Week 14	『みんなの日本語Ⅱ』第48課～第49課／『漢字たまご初中級』第13課			
第15週/Week 15	『みんなの日本語Ⅱ』第50課、第38課～第50課復習／『漢字たまご初中級』第14課			
第16週/Week 16	『みんなの日本語Ⅱ』総復習／『漢字たまご初中級』第15課			
第17週/Week 17	『みんなの日本語Ⅱ』期末試験／『漢字たまご初中級』総復習			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』関連教材（本冊、翻訳・文法解説、標準問題集、文型練習帳、やさしい作文、聴解タスク、読解トピック）、『漢字たまご初中級』				
成績評価 / Evaluation 「文法・読解」「文字・語彙」「作文」「聴解」の期末試験を行い、評価する。また、『みんなの日本語』5課ごとに「会話」の試験、2課ごとに到達度確認テストを行い、それぞれの平均点を「会話」「確認テスト」の成績項目で評価する。成績はすべてA～Eで評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	初級総合日本語Ⅱ		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無）
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	週5日・17週	授業時間 Class Hours	月曜日～金曜日 13:30～17:40	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによる実際の日常会話や、日本人の生活・習慣に関する知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 学習者が自身の「読む・聞く・書く・話す」の四技能を実際に運用しながら伸ばせるよう、授業中に口頭練習やペア活動、タスク活動、記述式の練習を多く行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日常生活に必要な日本語能力（日本語能力試験N4～N3/CEFR A2～B1程度）を「読む・聞く・書く・話す」の四技能にわたって身につけ、簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について日本語でコミュニケーションができるようになる。また、簡単な文章が読み書きできるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『みんなの日本語Ⅰ』第25課までの総復習／『漢字たまご初中級』楽しく覚えよう、第1課前半			
第2週/Week 2	『みんなの日本語Ⅱ』第26課～第27課／『漢字たまご初中級』第1課後半			
第3週/Week 3	『みんなの日本語Ⅱ』第28課～第29課／『漢字たまご初中級』第2課			
第4週/Week 4	『みんなの日本語Ⅱ』第30課～第31課／『漢字たまご初中級』第3課			
第5週/Week 5	『みんなの日本語Ⅱ』第26課～第31課復習、第32課／『漢字たまご初中級』第4課			
第6週/Week 6	『みんなの日本語Ⅱ』第33課～第34課／『漢字たまご初中級』第5課			
第7週/Week 7	『みんなの日本語Ⅱ』第35課～第36課／『漢字たまご初中級』第6課			
第8週/Week 8	『みんなの日本語Ⅱ』第37課、第32課～第37課復習／『漢字たまご初中級』第7課			
第9週/Week 9	『みんなの日本語Ⅱ』第38課～第39課／『漢字たまご初中級』第8課			
第10週/Week 10	『みんなの日本語Ⅱ』第40課～第41課／『漢字たまご初中級』第9課			
第11週/Week 11	『みんなの日本語Ⅱ』第42課～第43課／『漢字たまご初中級』第10課			
第12週/Week 12	『みんなの日本語Ⅱ』第44課～第45課／『漢字たまご初中級』第11課			
第13週/Week 13	『みんなの日本語Ⅱ』第46課～第47課／『漢字たまご初中級』第12課			
第14週/Week 14	『みんなの日本語Ⅱ』第48課～第49課／『漢字たまご初中級』第13課			
第15週/Week 15	『みんなの日本語Ⅱ』第50課、第38課～第50課復習／『漢字たまご初中級』第14課			
第16週/Week 16	『みんなの日本語Ⅱ』総復習／『漢字たまご初中級』第15課			
第17週/Week 17	『みんなの日本語Ⅱ』期末試験／『漢字たまご初中級』総復習			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』関連教材（本冊、翻訳・文法解説、標準問題集、文型練習帳、やさしい作文、聴解タスク、読解トピック）、『漢字たまご初中級』				
成績評価 / Evaluation 「文法・読解」「文字・語彙」「作文」「聴解」の期末試験を行い、評価する。また、『みんなの日本語』5課ごとに「会話」の試験、2課ごとに到達度確認テストを行い、それぞれの平均点を「会話」「確認テスト」の成績項目で評価する。成績はすべてA～Eで評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		N2 文法 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験 (有 ・ 無)	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき 90分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N2 (CEFR B2) レベルの日本語の文法知識を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
日本語能力試験 N2 (CEFR B2) レベルの文法の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。また、実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N2 の試験への対策を行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N2 (CEFR B2) レベルの文法の半数程度が運用できるようになる。日本語能力試験 N2 の文法問題が半数程度解答できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/Week 1	『できる日本語中級』第11課 使ってみよう 1~2、プリント				
第2週/Week 2	『できる日本語中級』第11課 使ってみよう 3~4、プリント				
第3週/Week 3	『できる日本語中級』第12課 使ってみよう 1~2、プリント				
第4週/Week 4	『できる日本語中級』第12課 使ってみよう 3~4、プリント				
第5週/Week 5	『できる日本語中級』第13課 使ってみよう 1~3、プリント				
第6週/Week 6	『できる日本語中級』第13課 使ってみよう 4~5、プリント				
第7週/Week 7	『できる日本語中級』第14課 使ってみよう 1~3、プリント				
第8週/Week 8	『できる日本語中級』第14課 使ってみよう 4~5、プリント				
第9週/Week 9	『できる日本語中級』第15課 使ってみよう 1~2、プリント				
第10週/Week 10	『できる日本語中級』第15課 使ってみよう 3~4、プリント				
第11週/Week 11	『できる日本語中級』第16課 使ってみよう 1~3、プリント				
第12週/Week 12	『できる日本語中級』第16課 使ってみよう 4~5、プリント				
第13週/Week 13	『できる日本語中級』第17課 使ってみよう 1~3、プリント				
第14週/Week 14	『できる日本語中級』第17課 使ってみよう 4~5、プリント				
第15週/Week 15	『できる日本語中級』第18課 使ってみよう 1~2、プリント				
第16週/Week 16	『できる日本語中級』第18課 使ってみよう 3~4、プリント				
第17週/Week 17	総復習 期末試験ならびに期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『できる日本語 中級』、『日本語能力試験対策 N2 文法総まとめ』(三修社)					
成績評価 / Evaluation					
期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。評価はすべて A~E で評価される。					
備考 / Memo					

2026 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	N 1 聴解・発音 I		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experiences
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	週 3 回 17 週	授業時間 Class Hours	1 回につき 50 分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N1 (CEFR B2) レベルの日本語の聞き取りや発音に必要な技術を教授する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N1 の試験への対策を行うと同時に、聞き取りの力を伸ばす。また、シャドーイングの形式で発音を練習し、自然な発音を身につける。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N1 (CEFR B2) レベルの会話や談話の聞き取りの力が向上し、日本語能力試験 N1 の聴解問題が半分程度解答できるようになる。N1 (CEFR B2) レベルの文法や語彙を用いた文章の読み上げや会話が自然に発音できることを目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	『ドリル&ドリル N 1 聴解』課題理解 / 『できる日本語 中級』10 課			
第 2 週/ Week 2	『ドリル&ドリル N 1 聴解』課題理解 / 『できる日本語 中級』10 課、チェック			
第 3 週/ Week 3	『ドリル&ドリル N 1 聴解』ポイント理解 / 『できる日本語 中級』11 課			
第 4 週/ Week 4	『ドリル&ドリル N 1 聴解』ポイント理解 / 『できる日本語 中級』11 課、チェック			
第 5 週/ Week 5	『ドリル&ドリル N 1 聴解』ポイント理解 / 『できる日本語 中級』12 課			
第 6 週/ Week 6	『ドリル&ドリル N 1 聴解』概要理解 / 『できる日本語 中級』12 課、チェック			
第 7 週/ Week 7	『ドリル&ドリル N 1 聴解』概要理解 / 『できる日本語 中級』13 課			
第 8 週/ Week 8	『ドリル&ドリル N 1 聴解』概要理解 / 『できる日本語 中級』13 課、チェック			
第 9 週/ Week 9	『ドリル&ドリル N 1 聴解』即時応答 / 『できる日本語 中級』14 課			
第 10 週/ Week 10	『ドリル&ドリル N 1 聴解』即時応答 / 『できる日本語 中級』14 課、チェック			
第 11 週/ Week 11	『ドリル&ドリル N 1 聴解』即時応答 / 『できる日本語 中級』15 課			
第 12 週/ Week 12	『ドリル&ドリル N 1 聴解』即時応答 / 『できる日本語 中級』15 課、チェック			
第 13 週/ Week 13	『ドリル&ドリル N 1 聴解』統合理解 / 『できる日本語 中級』16 課			
第 14 週/ Week 14	『ドリル&ドリル N 1 聴解』統合理解 / 『できる日本語 中級』16 課、チェック			
第 15 週/ Week 15	『ドリル&ドリル N 1 聴解』統合理解 / 『できる日本語 中級』17 課			
第 16 週/ Week 16	総復習 期末試験			
第 17 週/ Week 17	期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『ドリル&ドリル日本語能力試験 N 1 聴解読解』、『できる日本語 中級』各課の会話やモノログ部分を使用する				
成績評価 / Evaluation				
シャドーイングはピアラーニングを取り入れ、2 週間ごとにペアで評価を行う。期末試験を行い、「発音・聴解」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。				
備考 / Memo				

2026 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		N 1 文字・語彙 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年 2 年	実務経験 (有 ・ 無)	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	1 回につき 90 分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N2~N1 レベル (CEFR B2) の日本語の文字・語彙を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
日本語能力試験 N2~N1 (CEFR B2) レベルの文字・語彙の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。また、実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N1 の試験への対策を行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N2~N1 レベル (CEFR B2) の文字・語彙の半数程度が運用できるようになる。日本語能力試験 N1 の文字・語彙問題が半数程度解答できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『N 1 語彙スピードマスター』 1~2 / 『漢字たまご中級』 第 7 課 1				
第 2 週/ Week 2	『N 1 語彙スピードマスター』 3~4 / 『漢字たまご中級』 第 7 課 2				
第 3 週/ Week 3	『N 1 語彙スピードマスター』 5~6 / 『漢字たまご中級』 第 7 課 3				
第 4 週/ Week 4	『N 1 語彙スピードマスター』 7~8 / 『漢字たまご中級』 第 7 課 4				
第 5 週/ Week 5	『N 1 語彙スピードマスター』 9~10 / 小テスト 『漢字たまご中級』 第 8 課 1				
第 6 週/ Week 6	『N 1 語彙スピードマスター』 11~12 / 『漢字たまご中級』 第 8 課 2				
第 7 週/ Week 7	『N 1 語彙スピードマスター』 13~14 / 『漢字たまご中級』 第 8 課 3				
第 8 週/ Week 8	『N 1 語彙スピードマスター』 15~16 / 『漢字たまご中級』 第 8 課 4				
第 9 週/ Week 9	『N 1 語彙スピードマスター』 17~18 / 小テスト 『漢字たまご中級』 第 9 課 1				
第 10 週/ Week 10	『N 1 語彙スピードマスター』 19~20 / 『漢字たまご中級』 第 9 課 2				
第 11 週/ Week 11	『N 1 語彙スピードマスター』 21~22 / 『漢字たまご中級』 第 9 課 3				
第 12 週/ Week 12	『N 1 語彙スピードマスター』 23~24 / 『漢字たまご中級』 第 9 課 4				
第 13 週/ Week 13	『N 1 語彙スピードマスター』 25~26 / 小テスト 『漢字たまご中級』 第 10 課 1				
第 14 週/ Week 14	『N 1 語彙スピードマスター』 27~28 / 『漢字たまご中級』 第 10 課 2				
第 15 週/ Week 15	『N 1 語彙スピードマスター』 29~30 / 『漢字たまご中級』 第 10 課 3				
第 16 週/ Week 16	『N 1 語彙スピードマスター』 31~33 / 『漢字たまご中級』 第 10 課 4				
第 17 週/ Week 17	期末試験ならびに期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『N 1 語彙スピードマスター』『漢字たまご 中級』					
成績評価 / Evaluation					
期末試験を行い、「文字・語彙」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。漢字は 1 課ごとに小テストを行い、期末試験の成績に加味する。					
備考 / Memo					

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	N 3 文字・語彙		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無）
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき90分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベルの日本語の語彙知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの語彙の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの文字・語彙が運用できるようになる。日本語能力試験 N3（CEFR B1）の語彙問題が十分に解答できるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『日本語総まとめN3語彙』第1週／『漢字たまご中級』楽しく覚えよう、第1課1			
第2週/Week 2	『日本語総まとめN3語彙』第1週／『漢字たまご中級』第1課2			
第3週/Week 3	『日本語総まとめN3語彙』第2週／『漢字たまご中級』第1課3			
第4週/Week 4	『日本語総まとめN3語彙』第2週／『漢字たまご中級』第1課4			
第5週/Week 5	『日本語総まとめN3語彙』第3週／小テスト『漢字たまご中級』第2課1			
第6週/Week 6	『日本語総まとめN3語彙』第3週／『漢字たまご中級』第2課2			
第7週/Week 7	『日本語総まとめN3語彙』第3週／『漢字たまご中級』第2課3			
第8週/Week 8	『日本語総まとめN3語彙』第4週／『漢字たまご中級』第2課4			
第9週/Week 9	『日本語総まとめN3語彙』第4週／小テスト『漢字たまご中級』第3課1			
第10週/Week 10	『日本語総まとめN3語彙』第4週／『漢字たまご中級』第3課2			
第11週/Week 11	『日本語総まとめN3語彙』第5週／『漢字たまご中級』第3課3			
第12週/Week 12	『日本語総まとめN3語彙』第5週／『漢字たまご中級』第3課4			
第13週/Week 13	『日本語総まとめN3語彙』第5週／小テスト『漢字たまご中級』第4課1			
第14週/Week 14	『日本語総まとめN3語彙』第6週／『漢字たまご中級』第4課2			
第15週/Week 15	『日本語総まとめN3語彙』第6週／『漢字たまご中級』第4課3			
第16週/Week 16	『日本語総まとめN3語彙』第6週／『漢字たまご中級』第4課4			
第17週/Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『日本語総まとめN3語彙』 『漢字たまご 中級』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文字・語彙」の成績として評価する。成績はA～Eで評価される。漢字は1課ごとに小テストを行い、期末試験の成績に加味する。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	N 3 文字・語彙		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無）
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき 90分	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベルの日本語の語彙知識を教授する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの語彙の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本語能力試験 N3（CEFR B1）レベルの文字・語彙が運用できるようになる。日本語能力試験 N3（CEFR B1）の語彙問題が十分に解答できるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	『日本語総まとめN3語彙』第1週／『漢字たまご中級』楽しく覚えよう、第1課1			
第2週/ Week 2	『日本語総まとめN3語彙』第1週／『漢字たまご中級』第1課2			
第3週/ Week 3	『日本語総まとめN3語彙』第2週／『漢字たまご中級』第1課3			
第4週/ Week 4	『日本語総まとめN3語彙』第2週／『漢字たまご中級』第1課4			
第5週/ Week 5	『日本語総まとめN3語彙』第3週／小テスト『漢字たまご中級』第2課1			
第6週/ Week 6	『日本語総まとめN3語彙』第3週／『漢字たまご中級』第2課2			
第7週/ Week 7	『日本語総まとめN3語彙』第3週／『漢字たまご中級』第2課3			
第8週/ Week 8	『日本語総まとめN3語彙』第4週／『漢字たまご中級』第2課4			
第9週/ Week 9	『日本語総まとめN3語彙』第4週／小テスト『漢字たまご中級』第3課1			
第10週/ Week 10	『日本語総まとめN3語彙』第4週／『漢字たまご中級』第3課2			
第11週/ Week 11	『日本語総まとめN3語彙』第5週／『漢字たまご中級』第3課3			
第12週/ Week 12	『日本語総まとめN3語彙』第5週／『漢字たまご中級』第3課4			
第13週/ Week 13	『日本語総まとめN3語彙』第5週／小テスト『漢字たまご中級』第4課1			
第14週/ Week 14	『日本語総まとめN3語彙』第6週／『漢字たまご中級』第4課2			
第15週/ Week 15	『日本語総まとめN3語彙』第6週／『漢字たまご中級』第4課3			
第16週/ Week 16	『日本語総まとめN3語彙』第6週／『漢字たまご中級』第4課4			
第17週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『日本語総まとめN3語彙』 『漢字たまご 中級』				
成績評価 / Evaluation 期末試験を行い、「文字・語彙」の成績として評価する。成績はA～Eで評価される。漢字は1課ごとに小テストを行い、期末試験の成績に加味する。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	N 3 文法 (能力試験対策)		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験 (有・無)
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき90分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベル (CEFR B1) の日本語の文法知識を教授し、使えるように指導する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
日本語能力試験 N3 (CEFR B1) レベルの文法の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N3~N2 (CEFR B1) レベルの文法が運用できるようになる。テキストや問題集を使用し、実際に日常的な場面で使うことができるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『できる日本語中級』第1課 使ってみよう1~3、プリント			
第2週/Week 2	『できる日本語中級』第1課 使ってみよう4、プリント			
第3週/Week 3	『できる日本語中級』第2課 使ってみよう1~3、プリント			
第4週/Week 4	『できる日本語中級』第2課 使ってみよう4~5、プリント			
第5週/Week 5	『できる日本語中級』第3課 使ってみよう1~3、プリント			
第6週/Week 6	『できる日本語中級』第3課 使ってみよう4、プリント			
第7週/Week 7	『できる日本語中級』第4課 使ってみよう1~3、プリント			
第8週/Week 8	『できる日本語中級』第4課 使ってみよう4~5、プリント			
第9週/Week 9	『できる日本語中級』第5課 使ってみよう1~3、プリント			
第10週/Week 10	『できる日本語中級』第5課 使ってみよう4~5、プリント			
第11週/Week 11	『できる日本語中級』第6課 使ってみよう1~3、プリント			
第12週/Week 12	『できる日本語中級』第6課 使ってみよう4~5、プリント			
第13週/Week 13	『できる日本語中級』第7課 使ってみよう1~3、プリント			
第14週/Week 14	『できる日本語中級』第7課 使ってみよう4、プリント			
第15週/Week 15	『できる日本語中級』第8課 使ってみよう1~3、プリント			
第16週/Week 16	『できる日本語中級』第8課 使ってみよう4~5、プリント			
第17週/Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『45日間で基礎からわかる日本語能力試験 N2 文法総まとめ』				
成績評価 / Evaluation				
期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title	N3 文法		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経験（有・無）
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	1回につき90分	実務経歴 / Work Experiences
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 レベル (CEFR B1) の日本語の文法知識を教授し、使えるように指導する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
日本語能力試験 N3 (CEFR B1) レベルの文法の運用に必要な知識を学び、文作成などの練習を行うことで運用力を身につける。実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 の試験への対策を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N3~N2 (CEFR B1) レベルの文法が運用できるようになる。テキストや問題集を使用し、実際に日常的な場面で使うことができるようになる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	『できる日本語中級』第1課 使ってみよう1~3、プリント			
第2週/Week 2	『できる日本語中級』第1課 使ってみよう4、プリント			
第3週/Week 3	『できる日本語中級』第2課 使ってみよう1~3、プリント			
第4週/Week 4	『できる日本語中級』第2課 使ってみよう4~5、プリント			
第5週/Week 5	『できる日本語中級』第3課 使ってみよう1~3、プリント			
第6週/Week 6	『できる日本語中級』第3課 使ってみよう4、プリント			
第7週/Week 7	『できる日本語中級』第4課 使ってみよう1~3、プリント			
第8週/Week 8	『できる日本語中級』第4課 使ってみよう4~5、プリント			
第9週/Week 9	『できる日本語中級』第5課 使ってみよう1~3、プリント			
第10週/Week 10	『できる日本語中級』第5課 使ってみよう4~5、プリント			
第11週/Week 11	『できる日本語中級』第6課 使ってみよう1~3、プリント			
第12週/Week 12	『できる日本語中級』第6課 使ってみよう4~5、プリント			
第13週/Week 13	『できる日本語中級』第7課 使ってみよう1~3、プリント			
第14週/Week 14	『できる日本語中級』第7課 使ってみよう4、プリント			
第15週/Week 15	『できる日本語中級』第8課 使ってみよう1~3、プリント			
第16週/Week 16	『できる日本語中級』第8課 使ってみよう4~5、プリント			
第17週/Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『できる日本語 中級』、『45日間で基礎からわかる日本語能力試験 N2 文法総まとめ』				
成績評価 / Evaluation				
期末試験を行い、「文法・読解」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。				
備考 / Memo				

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		能力試験対策 N3 聴解・発音		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年 2年	実務経験（有・無）	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes	週3回 17週	授業時間 Class Hours	1回につき50分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 (CEFR B1) レベルの日本語の聞き取りや発音に必要な技術を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 (CEFR B1) の試験への対策を行うと同時に、聞き取りの力を伸ばす。また、シャドーイングの形式で発音を練習し、自然な発音を身につける。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N3 (CEFR B1) レベルの会話や談話の聞き取りができるようになり、日本語能力試験 N3 の聴解問題が十分に解答できるようになる。N3 レベルの文法や語彙を用いた文章や会話が自然に発音できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/Week 1	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 1 課				
第2週/Week 2	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 1 課、チェック				
第3週/Week 3	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 2 課				
第4週/Week 4	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 2 課、チェック				
第5週/Week 5	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 3 課				
第6週/Week 6	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 3 課、チェック				
第7週/Week 7	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 4 課				
第8週/Week 8	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 4 課、チェック				
第9週/Week 9	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 5 課				
第10週/Week 10	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 5 課、チェック				
第11週/Week 11	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part3 / 『できる日本語中級』 6 課				
第12週/Week 12	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part3 / 『できる日本語中級』 6 課、チェック				
第13週/Week 13	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part4 / 『できる日本語中級』 7 課				
第14週/Week 14	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part4 / 『できる日本語中級』 7 課、チェック				
第15週/Week 15	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part5 / 『できる日本語中級』 8 課				
第16週/Week 16	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part5 / 『できる日本語中級』 8 課、チェック				
第17週/Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『実力アップ! 日本語能力試験 N3 「聞く」』、『できる日本語中級』 各課の会話やモノログ部分を使用する					
成績評価 / Evaluation					
シャドーイングはピアラーニングを取り入れ、2 週間ごとにペアで評価を行う。期末試験を行い、「発音・聴解」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。					
備考 / Memo					

2026年度 福岡外語専門学校 シラバス

2026Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		N 3 聴解・発音		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無）	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	実務経歴 / Work Experiences	
授業回数 Number of Classes	週 3回 17週	授業時間 Class Hours	1回につき 50分		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
日本語ネイティブによって、日本語能力試験 N3 (CEFR B1) レベルの日本語の聞き取りや発音に必要な技術を教授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
実際の試験問題の形式に近い問題に取り組むことで、日本語能力試験 N3 (CEFR B1) の試験への対策を行うと同時に、聞き取りの力を伸ばす。また、シャドーイングの形式で発音を練習し、自然な発音を身につける。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N3 (CEFR B1) レベルの会話や談話の聞き取りができるようになり、日本語能力試験 N3 の聴解問題が十分に解答できるようになる。N3 レベルの文法や語彙を用いた文章や会話が自然に発音できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 1 課				
第 2 週/ Week 2	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 1 課、チェック				
第 3 週/ Week 3	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 2 課				
第 4 週/ Week 4	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 2 課、チェック				
第 5 週/ Week 5	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part1 / 『できる日本語中級』 3 課				
第 6 週/ Week 6	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 3 課、チェック				
第 7 週/ Week 7	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 4 課				
第 8 週/ Week 8	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 4 課、チェック				
第 9 週/ Week 9	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 5 課				
第 10 週/ Week 10	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part2 / 『できる日本語中級』 5 課、チェック				
第 11 週/ Week 11	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part3 / 『できる日本語中級』 6 課				
第 12 週/ Week 12	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part3 / 『できる日本語中級』 6 課、チェック				
第 13 週/ Week 13	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part4 / 『できる日本語中級』 7 課				
第 14 週/ Week 14	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part4 / 『できる日本語中級』 7 課、チェック				
第 15 週/ Week 15	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part5 / 『できる日本語中級』 8 課				
第 16 週/ Week 16	『実力アップ! N3 「聞く」』 Part5 / 『できる日本語中級』 8 課、チェック				
第 17 週/ Week 17	総復習 期末試験 期末試験フィードバック				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『実力アップ! 日本語能力試験 N3 「聞く」』、『できる日本語中級』 各課の会話やモノログ部分を使用する					
成績評価 / Evaluation					
シャドーイングはピアラーニングを取り入れ、2 週間ごとにペアで評価を行う。期末試験を行い、「発音・聴解」の成績として評価する。成績はすべて A~E で評価される。					
備考 / Memo					